

## 東村長選

### 伊集、當山陣営が総決起大会

【東】21日に告示、26日に投開票 公算が大きい。過疎対策や高江へされる東村長選挙に出馬を表明して リパッド建設などが争点となっている現職の伊集盛久氏(74)と新人 いる。同村の選挙人名簿登録者数の當山全伸氏(66)の両陣営は18日 は18日現在、1553人(男性854人、女性699人)。期日前の村長選は両氏の一騎打ちとなる 投票は22日から。(27面に関連)



### 村政継続を強調

伊集陣営

現職の伊集盛久氏の後援会は18日午後6時半から、宮城区公民館で総決起大会を開いた。伊集氏は3期目の総仕上げとして村政発展を訴え、支持を求めた。農業振興と企業誘致による人口増を強調する伊集氏 写真左から3人目 唱で氣勢を上げた。

「農業発展なくして他産業の発展はない。1次から6次まで整合性の取れた行政運営で村を発展させたい」と訴えた。

大会には村議や具志堅透 県議らが登壇し、伊集氏の2期8年の実績をPRしつつ、3期目も支えていく思いを述べた。最後は、参加者全員によるガンバロー三唱で氣勢を上げた。

### 閉塞感打破訴え

當山陣営

新人の當山全伸氏の後援会は18日午後7時から有銘区公民館で総決起大会を開いた。20年ぶりの村長選を前に、閉塞感を打破する村政改革を強く訴えた。農業振興を基盤とした定住促進を訴える當山氏 写真左から4人目

「農業を基盤とした定住促進を訴える當山氏 写真左から4人目」は「農業を中心とした経済基盤を確立し若者の起業支援や自然・文化が一体となった観光産業支援などを進める」とあいさつした。

大会には村議2人や国会議員5人が登壇し、村職員を経験した當山氏の手腕を評価し、村政改革の意気込みなどに賛同する思いを述べた。翁長雄志知事のメッセージも読み上げられた。

